



特集

# 暮らしの中に、図書館を

あなたにとって、図書館は身近な場所でしょうか。

子どもの頃に本を借りたことがあっても、大人になると利用する機会が少なくなるかもしれません。

図書館は「本を借りるだけの場所」だと思われることが多いですが、実は、さまざまな世界に通じる「扉」を皆さんに用意している場所です。

その扉を開くと、これまで知らなかった知識や情報、物語など、まだ見ぬ世界を覗いてみる事ができます。

そして、あなたの暮らしを豊かにしてくれるはずですよ。

今月の特集では、図書館に行く機会が少なくなった方にこそ知ってほしい、情報図書館の魅力を紹介します。

【詳細】情報図書館 ☎384-0202

初めに、情報図書館はどんな場所  
所で、どんなことができるのか、  
司書の鈴木さんに伺いました。

## 豊富な情報が集まる場所

情報図書館には、約45万冊の本の他に、雑誌、新聞、CD、DVDなどがあります。

図書館にある「本」というと小説などを思い浮かべる方が多いかもしれませんが、小説などの文学作品だけでなく料理や園芸、芸術書、パソコンなどさまざまなジャンルの本がそろっています。また、ビジネスパーソン向けには、自己啓発や業務改善などに役立つ実用書や新書、子育て世代には絵本や児童書、紙芝居など、数え上げれば切りがないほどの幅広いジャンルの情報を取りそろえています。

市民はもちろん、市内に通勤・通学している方も本を借りることができるので、何かの用事のついでに気軽にふらっと立ち寄ってほしいです。

ジャンルごとに本が並んでいる棚を見て回るだけでも、皆さんの興味を引く本がきつと見つかるはずですよ。

## 多様な切り口で本の魅力を発信中

2階のデモ展示室では、年に4回、企画展を開催しています。毎回テーマに沿った本や資料を展示しています。また、展示室の装飾を施し、テーマに沿った世界観を演出しています。

正面玄関エントランスホールでは、2か月ごとにテーマを変えて展示を行っています。普段は書庫に保管され、見る事ができない希少な資料も展示しています。

常設の特集コーナーには、定期的にテーマを変えて、おすすめの本をそろえています。

今年度実施した

### テーマの一部を紹介

- ◆デモ展示室
  - ・かわいい本展覧会
  - ・かがくのせかい展
- ◆エントランスホール
  - ・レコード芸術 70年のあゆみ
  - ・異界を覗く
  - ・森とともに…江別
- ◆特集コーナー
  - ・生誕 100周年 司馬遼太郎
  - ・世界アルツハイマー月間
  - ・災害に備える





ほかに、10代に読んで欲しい本を集めたYA(ヤングアダルト)コーナーや新着本コーナーなどもあります。

情報図書館では、1年を通してさまざまなテーマで展示やコーナーを展開していますので、情報図書館に来るだけで新たな世界を知ることができるかもしれません。

### 皆さんが必要としているものを

情報図書館にある本は、職員が利用者のニーズや利用傾向などを踏まえ、皆さんの知的欲求を満たせるよう、日々頭を悩ませながら選んでいます。

また、江別ゆかりの作家が執筆した本や北海道に関連する郷土資

料などは積極的に取り入れており、常設のコーナーもあります。

情報図書館に置いていない本は、「リクエスト」を受け付けています。お探しの本があれば、お気軽にご相談ください。

### 郷土資料を集めています

地域に根差した図書館として、郷土資料の収集にも力を入れています。

昭和以前の江別に関する資料がご自宅にあれば、ぜひご寄贈をお待ちしています。

例えば、明治から昭和40年以前の江別に関する地図や、『江別っ子』第1集から第7集までを探しています。



情報図書館  
司書 鈴木さん



特集コーナー (災害に備える)



エントランス展示 (森とともに…江別)



2階デモ展示室 (こわい本展覧会)





情報図書館  
司書 増田さん

## あなたの「知りたい」をお手伝いします レファレンスルーム

情報図書館の本館に「レファレンスルーム」があるのを知っていますか。

誰でも利用できるレファレンスルームでは、司書があなただの「知りたい」をお手伝いしています。

レファレンスルームではどんな場所でも、どんなことができるのか、司書の増田さんに伺いました。

### どんな場所ですか

レファレンスルームは、調べるための本があり、調べ物のお手伝いをする司書がいる部屋です。

辞典・事典や図鑑、白書、統計書、郷土資料など調べ物の基本となる本がたくさんあります。これらの本は貸し出しすることができませんが、レファレンスルーム内で閲覧することができます。

調べ物のお手伝いをすることを「レファレンスサービス」といいます。司書が、読みたい本を検索したり、たくさん

とができません。

インターネットで調べると何が違いますか

インターネットと本ではそれぞれ得意なことが違います。両方を使い分けることで、知りたい情報をより深めることができます。

知りたいことやわからないことがある時は、レファレンスルームにぜひ足を運んでみてください。

### どんな調べ物ができますか

「キュウリを大量消費できるレシピが知りたい」や「冬囲いに関する本を探している」など生活に関する事、「江別のれんがに関する歴史を知りたい」など歴史に関する事など、さまざまな調べ物のお手伝いをしています。

また、「本のタイトルが思い出せなくて困っている」といったことでも、どうぞお尋ねください。

どんなきさいな内容でも構いませんが、クイズの回答や法律相談などはお応えするこ

インターネットは素早く簡単に調べることができ、誰でも発信できるため情報の信ぴょう性に不安があり、正しい情報が分かりづらい傾向があります。また、本一冊分の情報量はとても多く、同じ情報量を全てインターネットで探そうとするのは大変です。

本は、多くの人が関わって、時間をかけて作られていますので、比較的信頼性の高い情報が得られます。ただし、本は発行するまでに時間がかかるため、新しい情報をすぐに反映できないという弱点があります。

私たちが調べ物をする時には、本以外に、雑誌や新聞、インターネットなど、それぞれの特性を理解したうえで、資料を提供しています。

# レファレンスルームを使ってみよう!



レファレンスのカウンターで調べたい事を質問してみましょう。



パソコンを使って、情報図書館にある本を調べます。



情報図書館にあるたくさんのお本の中から、カウンターで質問のあった内容に関連する情報が、わかりやすく載っている本を探していきます。



所要時間は、内容によって異なりますが、その日のうちに終わらず、後日ご案内することもあります。



情報が載っている本を紹介します。



レファレンスルームに入らなくても、カウンターや近くにいる職員に声をかけても大丈夫だよ! 分館では、近くにいる職員に聞いてみてね!





おはなし会ボランティア  
かたぎり あゆこさん  
片桐 亜結子さん

## 親子で楽しむ「おはなし会」

情報図書館では本を借りるだけでなく、DVDを視聴したり、おはなし会や映画会などに参加することができま

す。「おはなし会」は、週2〜3回行われ、ボランティアの皆さんが、絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊び、工作などを行っています。

おはなし会についてボランティアの片桐亜結子さんに伺いました。

ボランテアを始めたきっかけは何ですか

私が小学生の頃に、母が「風の子文庫」という家庭文庫を始めました。当時は図書館がなかったため、自宅にある本を地域の子どもに貸し出す家庭文庫の活動がさかんだったようです。「風の子文庫」を母から引き継ぎ、今でも毎週金曜日の14時〜17時にやっています。3千冊以上の絵本などがあり、誰でも利用することができま

す。私は子どもの頃から本に触れていて、母が読み聞かせのことが

できます。

ボランテアもしていたことがきっかけで始めました。

やりがいは何ですか

最初は緊張した表情の子どもと保護者の方が、帰る時には笑顔になっているのを見ると嬉しくなります。親子で楽しめるこの空間が大好きです。0歳から小学生くらいまで、幅広い年齢の子どもが参加できます。絵本は何冊も用意しているの、その日、参加した子どもの年齢に合わせて読む本を変えるなど、誰にでも楽しんでもらえる工夫をしています。

おはなし会の魅力は何ですか

おはなし会は、普段お父さんやお母さんが読み聞かせをするのとは少し違い、親子で身体を動かしたり、声を出したりしながら楽しむことができます。また絵本を通して、他の参加者とコミュニケーションが取れるのも魅力です。本館だけでなく、分館でも

## 大人のおはなし会も開催

令和4年度から月1回開催している大人向けのおはなし会です。幅広い年代の方が参加できます。

【今月の開催】11/22(水) 13:30 ~ 14:30

※開催日時は、毎月広報えべつでお知らせしています

月1回開催しています！



開催しています。私の他にも数名のボランティアがいるので、それぞれ違った雰囲気のおはなし会が楽しめます。絵本の良さを再認識できる、とても楽しい場所なので、ぜひ気軽に足を運んでみてほしいです。  
※おはなし会の開催日時は、毎月広報えべつでお知らせしています(12ページ参照)

## AVコーナー



映画や音楽、スポーツのビデオやDVDなどを見ることができるコーナーです。16,000点以上あり、今では貴重なLD（レーザーディスク）もあります。

視聴を希望する場合は、棚にある空のケースをカウンターに持っていか、リストから選んでください。

# 本を読むだけじゃない！！ 図書館でできる あれこれ

## 映画会・子ども映画会



毎週日曜日に開催している「映画会」と「子ども映画会」。大型のスクリーンでさまざまなジャンルの映画を鑑賞できます。

## 雑誌・新聞コーナー



新聞は12紙、雑誌は約240種類あり、料理やスポーツ、ファッションなどのほか、週刊誌など、幅広い年代の方が楽しめるようにしています。

## 実験教室など



夏休み・冬休みのおもしろ理科実験教室や水引きのしおり作りなど幅広い年齢層を対象としたイベントもあります。

## さまざまなイベントを開催



としょかんまつり  
「としょかんビンゴ」や「書庫見学ツアー」などのイベントや展覧会を開催しており、子どもから大人まで楽しめます。



ぬいぐるみのおとまり会  
お気に入りのぬいぐるみと一緒におはなし会に参加した後、ぬいぐるみたちが図書館にお泊まりをします。お泊まり中のぬいぐるみの様子はフェイスブックで見ることができます。毎年人気の行事です。

# 情報図書館MAP

情報図書館は、野幌にある本館の他にも、公民館の中にある分館や小学校図書館の地域開放などがあります。

また、野幌駅の近くにある市民交流施設「ぱらっと」では、インターネット予約した本を借りることができます。

借りた本はどこでも返却することができます。返却する際は、近くの施設をご利用ください。

情報図書館ホームページ▶▶▶



## ▼ 江別分館（中央公民館内）



【開館時間】  
火～日曜日  
10:00～17:00

※公民館の開館時間内は、ブックポストに返却可

## ▼ 豊幌小学校図書館地域開放事業



【開館時間】  
水曜日  
14:00～17:00  
土・日曜日  
10:00～17:00

## ▼ 江別太小学校図書館地域開放事業



【開館時間】  
土・日曜日  
10:00～17:00

情報図書館からのお知らせは、**SNS**（フェイスブック・LINE）でも発信しています！

広報えべつや情報図書館HPのほか、SNSでもイベントの情報などを発信しています。

情報図書館  
フェイスブック



市LINE  
公式アカウント



※LINEは受信設定で「子育て」のうちいずれかを選択してください（複数可）

## インターネットで本の予約ができる オンラインサービスが便利です

### 【サービス内容】

- \*本の予約ができる
- \*予約・貸出本ランキングがわかる
- \*新着本お知らせメールが届く(要登録)
- \*読みたい本を記録しておく(要登録)
- \*本の貸出期間の延長ができる
- \*本の検索ができる

### 【利用方法】※初めて利用する場合

- ① カウンターでオンラインサービスが利用できる仮パスワードを発行してもらう(どの施設でも発行可能)
- ② 情報図書館のホームページからログインし、本パスワードを設定する

24時間  
利用可





### ▼大麻分館（大麻公民館内）



【開館時間】  
火～日曜日  
10:00～17:00

※公民館の開館時間  
内は、ブックポスト  
に返却可

### ▼本館



【開館時間】  
火・土曜日 10:00～19:00  
水・木曜日 10:00～21:00  
金・日曜日 10:00～17:00

※開館時間以外は、ブックポストに返却可

### ▼市民交流施設「ぷらっと」 （予約図書受け渡し・返却窓口）

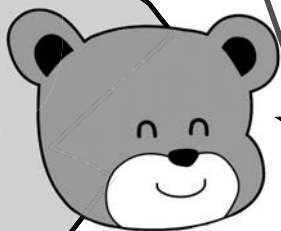


【利用時間】  
月～金曜日 10:00～21:00  
土・日曜日、祝日 10:00～18:00

### ▼情報図書館の休館日

毎週月曜日 ※「ぷらっと」は利用可  
第4金曜日（図書整理日）※「ぷらっと」は利用可  
年末年始（12/29～1/3）  
6月中の1週間（特別図書整理期間）

本館だけじゃなく、  
住んでいる身近な場所  
にある図書館をぜひ利  
用してみてね！  
借りた本はどこでも返  
せるよ！



### 特集への感想をお寄せください

#### ▼ 郵送・ファクスで送る

〒067-8674 高砂町6 広報広聴課 ☎ 381-1149

#### ▼ 市HPアンケートフォームで送る

市HP内「広報えべつ」を検索するか、  
右の二次元コードを読み込んでください。



暮らしの中に、図書館を  
図書館は、誰もが無料で情報を入手し  
たり、専門的な知識を身につけることが  
できる場所です。また、おはなし会や映  
画会といったイベントが開催されるな  
ど、地域の人々が共通の趣味や関心事を  
通じて交流することもできます。  
デジタル時代においても、図書館は  
人々にとって重要な存在であり続けてお  
り、図書館の価値は色あせるどころかま  
すますその輝きを増しているといえます。  
今こそ、あなたの暮らしの中に図書館  
を取り入れ、さまざまな世界に通じる扉  
を開きましょう。【終】